

1. 7月全国行事

- | | |
|----------|-----------|
| 1)国民安全の日 | 7月1日 |
| 2)全国安全週間 | 7月1日～7月7日 |

2. 安全・衛生・防災の心得 : 要注意 梅雨どきの安全衛生管理

3. 安全衛生巡視 良い事例(抜粋)

4. 他社 事故・災害事例から : 食品機械のベルトに指を挟まれ

5. ヒヤリハット事例 :

2. 安全・衛生・防災の心得 : 要注意 梅雨どきの安全衛生管理

～今年の梅雨は全国的に長引く・・・(気象庁)～

・気象庁の長期予報によると、今年の6月から7月にかけての梅雨は全国的に長引きそうだと発表しています。

この時期の高温・多湿・多雨の状態は、設備や環境だけではなく、人も「不安全な状態」になりやすいものです。特に次のことについて注意を払い、適切な対策や措置を行いましょ。

①感電災害に注意 高温多湿による絶縁不良や劣化に加えて、人の側も、衣類や皮膚の湿潤化などによって電気抵抗が下がっている。

②足元に注意 通路や階段(室内でも)、足場や現場等が濡れていて足元が不安全。

③服装・保護具に注意 衣類の不衛生、保護メガネやマスク等の機能低下のおそれがある。

④省略行為に注意 降雨下で外の作業や外に出る作業では、雨でおっくうなため、つい省略行為やルール違反を行いがちになる。

⑤通勤時に注意 車や自転車、歩行でも、降雨時は視界が悪く、滑り(スリップ)やすい。

⑥熱中症に注意 体がまだ熱さに慣れていないことや、熱中症の管理が行われていないことなどで、熱中症にかかりやすい。

⑦紫外線に注意 この時期の紫外線は特に強いので、薄曇りでも要注意。

⑧健康に注意 高温多湿は、高血圧や心臓病等の生活習慣病の悪化を招きやすい。食中毒や夏風邪などにも格段の注意を、など。



3. 安全衛生巡視 良い事例(抜粋)

●西日本技術センター(中京)

- ・蒸気、エア等配管を色識別していた



●福山工場

- ・新棟にシャワー、ウォータークーラーを新設、衛生面改善を行っていた



4. 他社 事故・災害事例から : 食品機械のベルトに指を挟まれ

～慣れた環境や作業ほど安全対策を～

(1)災害のあらまし

- ・食品工場でベテランの女性作業員(50歳、勤続25年)が、魚肉練り製品(かまぼこ)の板付け機械で作業中、動力伝導部のVベルトに魚肉がこぼれたのを取り除こうと、タオルで拭きかけたところ、タオルの端がVベルトとプーリーの間に巻き込まれ、タオルもろとも右手を挟み込まれて第2指を複雑骨折し、永久障害となったものです。

(2)災害の主な原因

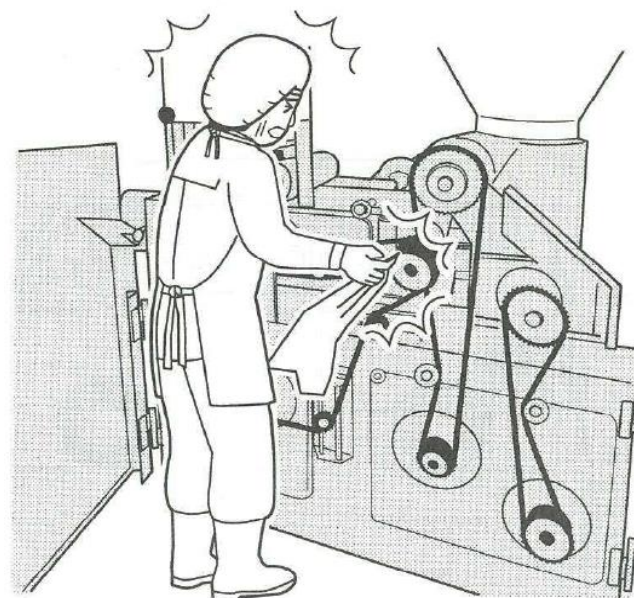
- ①板付機のプーリー及びVベルト部分に覆い等が設けられていなかったこと。
- ②異常の際は機械を止めるよう決められ、表示もされていたが守られていなかったこと。
- ③Vベルトの魚肉のこぼれを度々手やタオル等で除いていたこと。
- ④異常時等の対応について規定や作業手順がなく、また、教育等も実施されていなかったこと、など。

(3)同種災害の防止対策 例

- ①機械の動力伝導部等の危険な部分には必ず、覆い、囲い、スリーブ等を設ける。
- ②加工物(魚肉等)が機械からこぼれないよう改善する。
- ③異常時の処理等について作業手順を定め、これを関係作業員に周知徹底する。
- ④特にベテランについては安全作業のリーダー的役割を持たせる、など。

(4)環境安全部から

- ・機械駆動部、回転部等の作業員に危険を及ぼす恐れのあるものをメンテナンスや点検を実施する際は必ず、機械を停止させてから作業を行うこと。



5. ヒヤリハット事例

- ・事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

いつ	作業中、移動している際に
どこで	倉庫中央と化成棟をつなぐ通路で
何をしている時に	製品をのせた台車を押している際に
どうなった	倉庫に入る時に、死角になっている通路から人が歩いてきてヒヤリとした